令和 8 年 11 月吉日

令和 8 年度 （一社）長野県病院薬剤師会 学術大会 のお知らせ

（一社）長野県病院薬剤師会 会長　内藤 隆文

仲秋の候、先生にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素より一般社団法人長野県病院薬剤師会の活動に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

今年度の一般社団法人長野県病院薬剤師会（以下「本会」）学術大会では、大会テーマを「地域から拓く病院薬剤師の可能性 ～“きらり”と輝く挑戦を未来へ～」といたしました。本学術大会では、会員の皆様が地域医療や地域住民のために実践されている取り組みや、先進的な活動について発表・共有し、これからの病院薬剤師の在り方を未来志向で考える機会とすることを目的としております。

午前の部では一般演題として、口頭発表およびポスター発表を予定しております。県内の若手薬剤師を中心に、日頃の業務における取り組みや研究成果を発表する機会とするとともに、施設の垣根を越えた情報共有や交流を深める場になればと考えております。

午後の部では、「病院薬剤師の未来をつくる―地域から始める新たな挑戦―」をテーマに、基調講演として京都大学医学部附属病院 薬剤部 教授・薬剤部長 寺田智祐先生をお招きし、ご講演いただきます。続くシンポジウムでは、4 名の先生方にご登壇いただき、それぞれの立場から取り組みをご紹介いただくとともに、総合討論・意見交換を通じて、今後の病院薬剤師の役割や可能性について考えを深める機会としたいと考えております。

また、本大会では企業関係者及び卸業者の参加も認めています。一方で、会員の皆様が安心して学術活動に専念できるよう、企業関係者及び卸業者による営業・販売促進・勧誘活動等を控えていただくなど、参加にあたってのルールを設けています。

本大会が、参加される皆様にとって新たな気づきや学びを得る場となり、日々の実践や今後の活動につながる有意義な機会となれば幸いです。是非多くの先生方にご参加いただきますようお願い申し上げます。

■　日時：令和 8 年 12 月 12 日（土）　　10:00～16:35　（受付開始　9:30～）

■　会場：松本市勤労者福祉センター　　〔〒390-0811 長野県松本市中央 4 丁目 7-26〕

■　参加費（1 名あたり）：　1,000 円　（長野県病院薬剤師会会員および長野県薬剤師会会員）
3,000 円　（上記以外の非会員および賛助会員）
10,000 円　（賛助会員外企業）
＊但し、企業関係者及び卸業者は 1 社あたり 2 名までの参加になります

■　申込締切：令和 8 年 12 月 8 日（火）　**締切厳守でお願いします。当日の受付はありません。**

■　申込方法：参加を希望する**会員及び非会員の方**は、以下の URL または QR コードより「アスヤクＬＩＦＥ研修」にアクセスして事前に参加登録を行ってください。

＜URL＞

https://kenshu.asuyaku.life/trainings/2973

＜QR コード＞

：**賛助会員/賛助会員外企業の方**は以下のグーグルフォームからお申し込みください。
参加費は当日、会場受付にてお支払いください。

グーグルフォーム
https://forms.gle/asFQp5MNfjXa1RBCA

[会員及び非会員の皆様]

・ 日病薬病院薬学認定薬剤師制度の研修単位を希望する方は、事前に日病薬会員管理システム「シクミネット」に薬剤師免許証の薬剤師名簿登録番号の登録が必要です。
・ 参加登録は、お一人ずつお願いします。
・ 申込間違い、キャンセル等に伴う参加費の返金はできませんのでご了承ください。
・ 本会からの領収書は発行いたしません。振込明細等をもって領収書に代えさせていただきます。
・ ご登録いただいた内容は、研修単位申請のため本会事務局へ情報提供をさせていただきます。その他、本研修に関する連絡以外の目的では使用いたしません。

[賛助会員および賛助会員外企業の皆様]

本大会は、薬剤師の学術的研鑽と参加者相互の交流を目的としています。企業及び卸業者の皆様にも、本大会の趣旨をご理解のうえ、ご参加いただきますようお願いいたします。
大会中は、以下の行為をお控えください。

・製品・サービス等の営業、販売促進、勧誘活動
・資料配布、面談・アポイントの勧誘
・参加者情報の営業目的での利用
・講演・発表等を妨げる行為
・その他、当会が不適切と認める行為

製品・サービス等の情報提供は、広告等の公式な協賛機会をご利用ください。
本大会の趣旨に反する行為等が認められた場合には、主催者より必要な対応をお願いすることがあります。ご理解とご協力をお願いいたします。

■　プログラム

時間	内容
10:00～10:15	学術大会開会式
【午前の部】	一般演題
10:15～11:15 （60 分）	口頭発表　　4 演題　（詳細は下記参照） 座長：竹澤　崇　　薬学生教育委員（信州大学医学部附属病院） 小林　真弓　薬学生教育委員（丸子中央病院）
11:25～12:45 （80 分）	ポスター発表　14 演題　（詳細は下記参照） 座長：滝沢　伸司　　新人教育委員（篠ノ井総合病院）（2-1 会議室） 木下　智洋　　新人教育委員（飯田市立病院）　（2-1 会議室） 石塚　剛　　生涯研修委員（松本市立病院）　（2-2 会議室） 髙野　耕一郎　生涯研修委員（飯田市立病院）　（2-2 会議室） 〔2-1 会議室〕　7 演題　（P-01～P07） 〔2-2 会議室〕　7 演題　（P-08～P14）
12:45～13:45（60 分）	昼食（2-4 会議室、2-5 会議室）
【午後の部】	基調講演・シンポジウム
13:45～14:45 （60 分）	基調講演 座長：清原　健二　学術部長（富士見高原病院） 演者：寺田　智祐　先生（京都大学医学部附属病院薬剤部　教授・薬剤部長） 演題：「2040 年から逆算する病院薬剤師の未来 ～地域医療の変化に、今どう備えるか～」
14:45～16:15 （90 分） （14:45～15:00） （15:00～15:15） （15:15～15:30） （15:30～15:45） （15:45～16:15）	シンポジウム タイトル：「病院薬剤師の未来をつくる―地域から始める新たな挑戦―」 座長：林　美和子　学術委員長（岡谷市民病院） 三村　享　　研究推進委員長（信州大学医学部附属病院） 演者：武井　康訓　先生（大町総合病院） 演題：「当院における病棟薬剤業務の充実に向けた業務効率化の取り組み」 演者：有賀　惟登　先生（諏訪赤十字病院） 演題：「心不全患者のフォローアップ充実に向けた薬薬連携に関する取り組み」 演者：赤平　淳美　先生（信州上田医療センター） 演題：「地域で守る腎機能－上田地域における CKD シールの取り組み－」 演者：小池　恵理　先生（北信総合病院） 演題：「ポリファーマシー対策における薬剤総合評価調整加算・薬剤調整加算推進のための取り組み～加算関連手順書およびフローチャートの作成とアップデートの成果～」 総合討論・全体講評　＜コメンテーター：　寺田　智祐　先生＞
16:15～16:35	閉会式/優秀演題表彰

■口頭　発表者及び演題名

O-1. 伊坪 愛永（飯田市立病院）　「整形外科病棟薬剤師による持参薬の処方代行入力の有用性について」

O-2. 五味 裕大（諏訪赤十字病院）　「精神科領域における処方支援を組み込んだ慢性便秘症に対する多職種介入型 PBPM の構築」

O-3. 塚田 真伍（伊那中央病院）　「Slack を活用した薬剤部内情報共有」

O-4. 宮坂 英徳（長野赤十字病院）　「令和 8 年熊本地震における医療救護班薬剤師の活動報告」

■ポスター　発表者及び演題名

P-01. 中山 美佳（信州大学医学部附属病院）　「術後硬膜外麻酔薬の中央調製による手術室担当薬剤師の薬物治療支援への影響」

P-02. 柳澤 泰斗（長野赤十字病院）　「血清カリウム値および腎機能を指標とした心不全患者におけるフィネレノンの安全性」

P-03. 數本 直規（長野赤十字病院）　「当院における抗菌薬適正使用支援(AST)活動 8 年間の定量的評価」

P-04. 白鳥 泰宏（伊那中央病院）　「Candida lusitaniae 菌血症に伴う眼内炎に対し AST 薬剤師が抗真菌薬の投与設計および TDM に介入した一例」

P-05. 黒河 広樹（県立こども病院）　「オクトレオチド、越婢加朮湯により軽快した先天性乳糜胸の一症例」

P-06. 木口 このみ（県立こども病院）　「エレビジス®投与における多職種連携」

P-07. 寺澤 はるか（伊那中央病院）　「伊那中央病院 DMAT 標準医薬品リスト(2026)の作成」

P-08. 下枝 貞彦（長野赤十字病院）　「日常診療における薬学的介入の実態調査―5 日間 268 件の事例分析―」

P-09. 樋口 弓都（長野赤十字病院）　「外来化学療法における疑義照会内容の分析と処方適正化への取り組み」

P-10. 片桐 玲奈（長野赤十字病院）　「乳癌化学療法のパロノセトロン誘発便秘に対する酸化マグネシウムとマクロゴール製剤の比較検討」

P-11. 新井 美咲（長野赤十字病院）　「当院におけるチソツマブ　ベドチン新規導入の経験」

P-12. 北村 萌々花（長野赤十字病院）　「抗がん剤皮下注製剤への切り替えによる薬剤師業務軽減効果の検討」

P-13. 堀内 綾音（長野赤十字病院）　「新人薬剤師の抗がん剤混注業務における習熟度評価尺度の検討」

P-14. 古屋 朋子（信州大学医学部附属病院）「外来がん化学療法における診察前面談での薬剤師介入の有用性評価」

■　認定単位：①日病薬病院薬学認定薬剤師制度　②日本薬剤師研修センター研修制度

①【午前の部】領域Ⅱ-6　1.5 単位

【午後の部】領域Ⅱ-5　0.5 単位 、Ⅲ-2　1 単位　　として申請予定です。

② 3 単位　として申請予定です

■　問合せ先：(一社）長野県病院薬剤師会 学術部　部長　清原　健二

（富士見高原医療福祉センター富士見高原病院）

連絡先　TEL　0266-62-3030（代表）　　E-mail　kiyoken61@gmail.com

※なお、都合によりプログラムの内容・講師が変更となる場合がありますので、ご了承ください。

主催：(一社）長野県病院薬剤師会

令和8年度

（一社）長野県病院薬剤師会

学術大会

メインテーマ

地域から拓く 病院薬剤師の可能性

～“きらり”と輝く挑戦を未来へ～



日時 12月12日㊏ 10:00～ | **会場** 松本市勤労者福祉センター

プログラム

午前の部　一般演題

- 口頭発表
- ポスター発表

午後の部

◆ 基調講演

「2040年から逆算する病院薬剤師の未来
～地域医療の変化に、今どう備えるか～」

演者　寺田 智祐 先生

（京都大学医学部附属病院 薬剤部 教授・薬剤部長）

◆ シンポジウム

テーマ　病院薬剤師の未来をつくる
―地域から始める新たな挑戦―

主催：一般社団法人 長野県病院薬剤師会